

明海大学不動産学部

不動産の不思議

学生たちの視点と発見

第264回

奥行き感のある建物には高級感がある。先日、千葉県の柏市のアパート(写真)を見たときにそれを強く感じた。奥行き感がある理由は、妻側住戸の外壁の小さな窓に庇(ひさし)をつけていることである。

庇のもつ役割を調べると、大きく

減少する庇を考える

A black and white portrait photograph of a young man with dark, neatly styled hair. He is looking directly at the camera with a neutral expression. He is wearing a dark suit jacket over a light-colored collared shirt. The background is a plain, light-colored wall.

朽方 勇祐

不動產學部 2 年

面の陰だ。この部分は太陽が当たら
ないために暗く、太陽が当たつて
光って見える壁面とコントラストが
生まれる。写真の建物は庇が金属板
で、金属の光沢と陰が不思議な見え
方を生み、奥行き感を一層強くして
いる。

このように庇には機能的、美観的
な効果があるにもかかわらず、実際
に庇をつくる建物が少ないのはなぜ
いる。

コストアップも美観は普遍

3の理由に配慮しているからだ
る。

面の陰だ。この部分は太陽が当たらないために暗く、太陽が当たって光って見える壁面とコントラストが生まれる。写真的建物は庇が金属板で、金属の光沢と陰が不思議な見え方を生み、奥行き感を一層強くしている。

い。このため、庇がなければ考慮する必要がない維持修繕費が発生する。第3の理由として、劣化によつて庇が変形するとかえつて美観を損ねる。古くなつた建物の庇の一部が腐食して垂れ下がつているのを見ることがあるが、こうなつてしまつと、庇がないほうがよかつたことになる。写真の住宅は耐久性のある金属の庇を使つてゐるのは、第2、第

が、通りかかる人にも住む人にも配慮が伺えて、好感が持てる。

【教員のコメント】

小庇は霧除けともいわれ、少々の悪天候では開口部の機能を失わせない役割と同時に、伝統的建築物の美観を構成する重要な要素であった。機密性と断熱性に優れるサッシュの普及に伴って廃れる傾向にあるが、美観機能は普遍的である。

だらうか。理由は様々と考えるが、第1の理由は工事費の増加である。庇をつけると、庇の材料代、工事の手間が増えるほか、防水に配慮する必要が生じる、工期が延びるなど、工事費が高くなる要素が重なる。最近は小さな窓を並べる家が多く、その窓一つひとつに庇をつけるべく、工事費が大きく上昇すると推測できる。第2の理由として、劣化が早くなる。庇の機能について見方を変えると、庇が雨や風や直射日光にさらされることで建物を守る側面があり、それだけ劣化が早



金属の光沢と陰が奥行き感を際立たせる